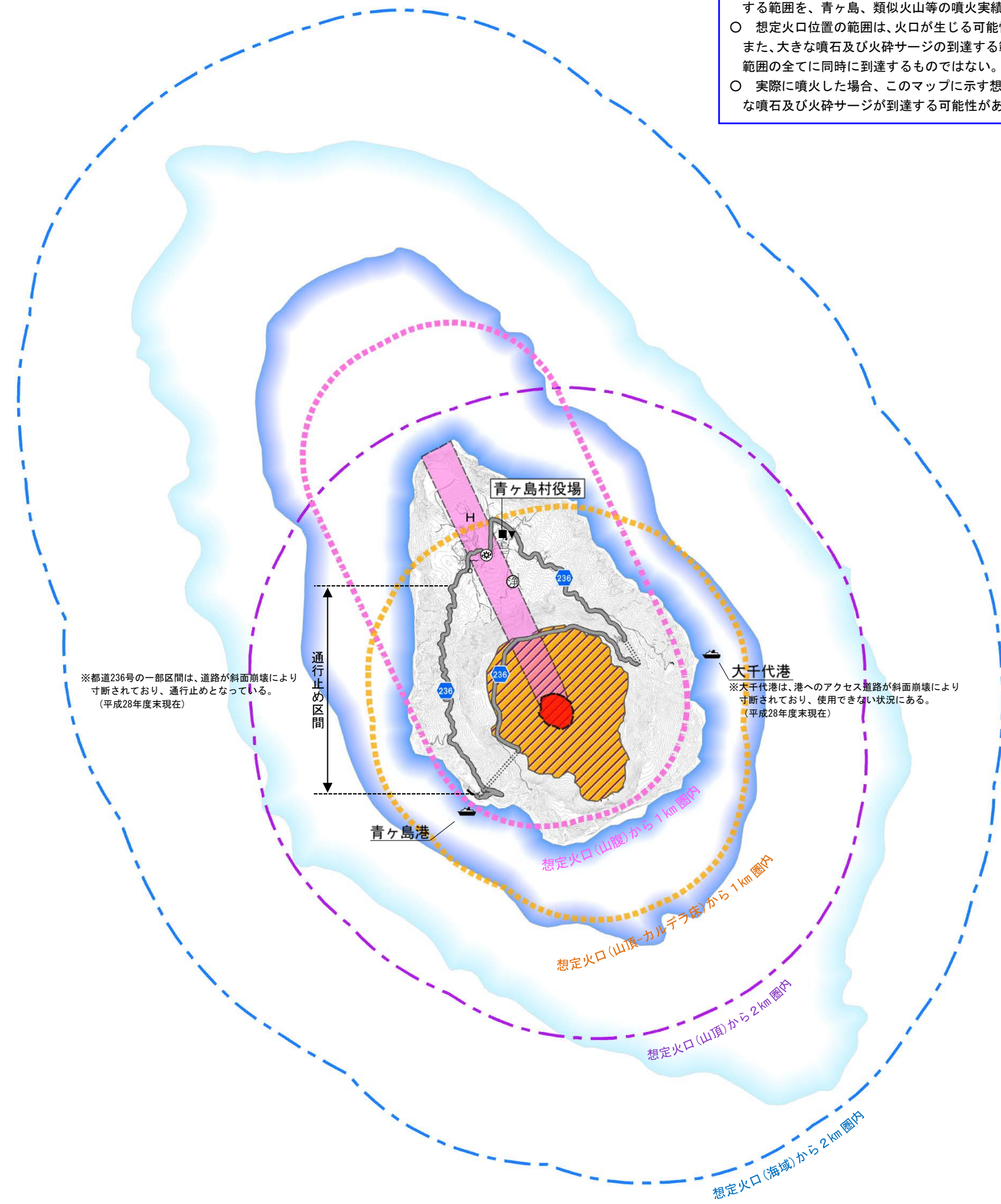


青ヶ島火山ハザードマップ（想定火口位置、大きな噴石、火砕サージ）

マップの見方

- このマップは、青ヶ島で噴火が発生する場合に火口が生じる範囲（想定火口位置）、大きな噴石及び火砕サージの到達する範囲を、青ヶ島、類似火山等の噴火実績に基づいて予測したものである。
- 想定火口位置の範囲は、火口が生じる可能性のある範囲を示したものであり、範囲の全てで同時に生じるものではない。また、大きな噴石及び火砕サージの到達する範囲は、想定火口位置から発生した場合の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 実際に噴火した場合、このマップに示す想定火口位置の範囲外に火口が生じる可能性がある。また、到達範囲外に大きな噴石及び火砕サージが到達する可能性がある。



※都道236号の一部区間は、道路が斜面崩壊により寸断されており、通行止めとなっている。
(平成28年度末現在)

通行止め区間

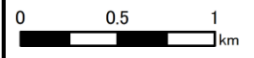
大千代港
※大千代港は、港へのアクセス道路が斜面崩壊により寸断されており、使用できない状況にある。
(平成28年度末現在)

<凡例（火山現象）>

		想定火口位置	到達範囲
マグマ噴火	山頂（丸山）	■	
	山頂（カルデラ床）	■	大きな噴石（1km圏内）
	山腹	■	大きな噴石（1km圏内）
マグマ水蒸気噴火	山頂（カルデラ床）	■	大きな噴石（2km圏内）
	海域（水深100m以浅）	■	大きな噴石 火砕サージ（2km圏内）
	海域（水深400m以浅）	■	※水深400m以浅では、海面に噴煙等による影響が発生する可能性がある。

<凡例（施設）>

■	村役場
▼	駐在所
—●—	都道
⚓	港湾
H	ヘリポート
⊕	発電所
⊕	浄水場
⊕	電波塔



この地図は、国土地理院長の承認（平19国地関公第377号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2,500）を使用（28都市基交第104号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。

青ヶ島火山ハザードマップ（火山灰(小さな噴石を含む。) : 400万 DREm³)

マップの見方

- このマップは、青ヶ島で噴火が発生し、山頂火口から400万DREm³の火山灰(小さな噴石を含む。以下同様)が噴出した場合に堆積する厚さ及び範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 風向のばらつきを考慮した分布(カラー表示)は、季節による風向のばらつきを考慮した分布をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に堆積するものではない。
- 実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模、風向、風速等の条件によって分布は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

<凡例(火山現象)>

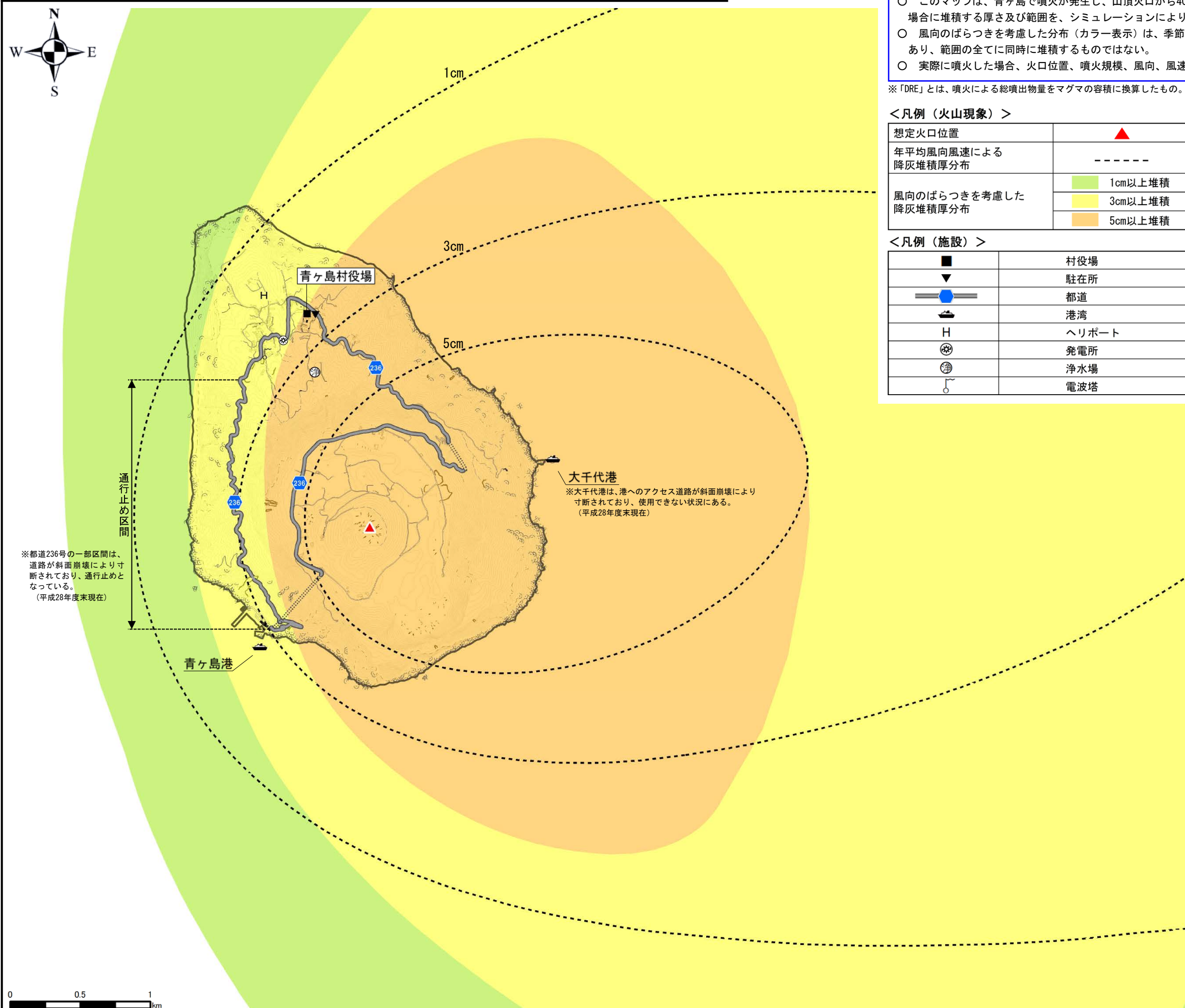
想定火口位置	
年平均風向風速による降灰堆積厚分布	
風向のばらつきを考慮した降灰堆積厚分布	1cm以上堆積
	3cm以上堆積
	5cm以上堆積

<凡例(施設)>

	村役場
	駐在所
	都道
	港湾
	ヘリポート
	発電所
	浄水場
	電波塔

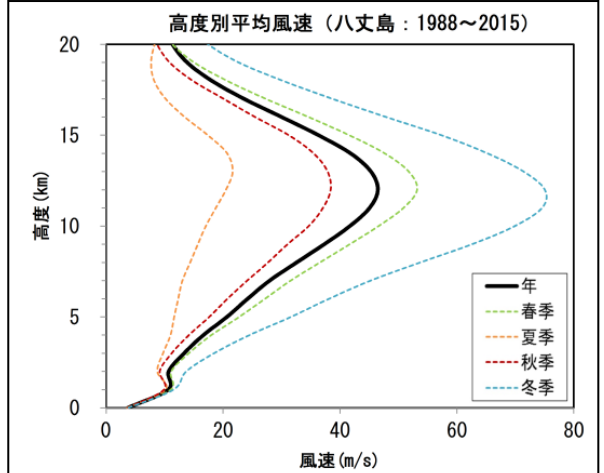
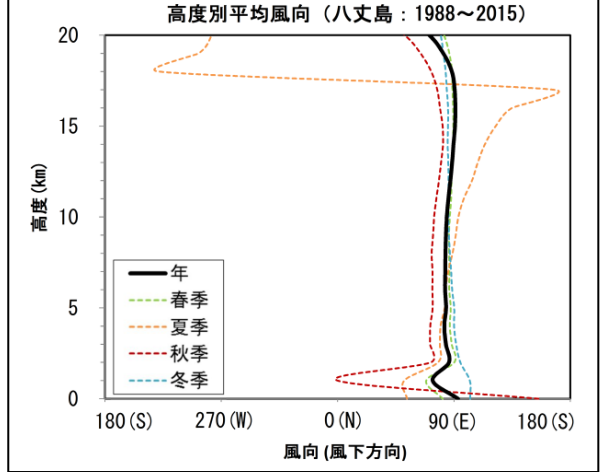
【シミュレーションの設定値】

使用パラメーター	設定値
噴出量(見かけ体積)	1,000万m ³
噴出量(DRE体積)	400万m ³
噴煙柱高度	10.2km
風向	高度別年平均風向と平均風向±σ(1988~2015年のデータ)
風速	高度別年平均風速



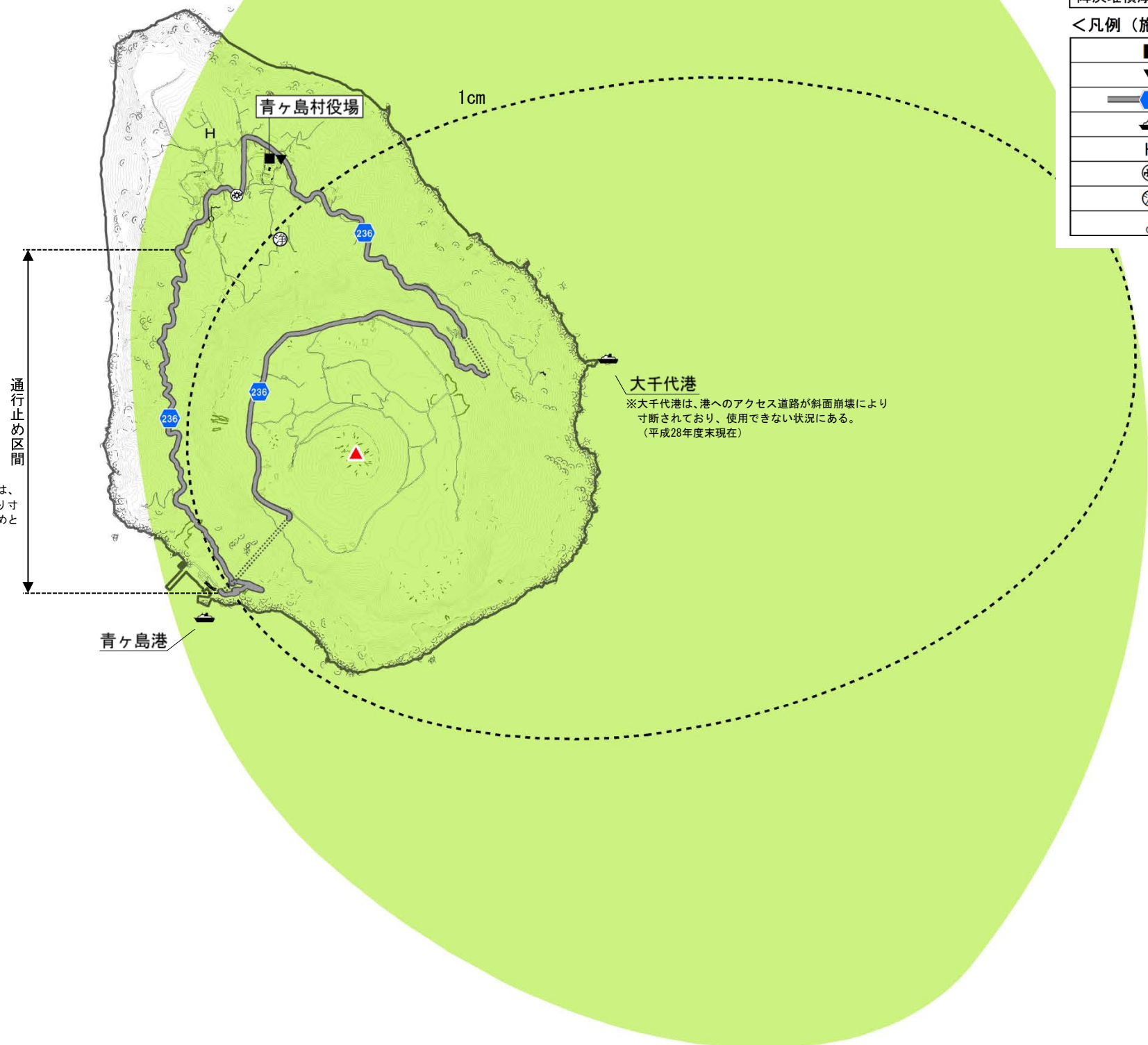
大千代港
 ※大千代港は、港へのアクセス道路が斜面崩壊により寸断されており、使用できない状況にある。(平成28年度末現在)

※都道236号の一部区間は、道路が斜面崩壊により寸断されており、通行止めとなっている。(平成28年度末現在)



※風のデータは八丈島特別地域気象観測所の観測値を使用

青ヶ島火山ハザードマップ（火山灰(小さな噴石を含む。) : 40万 DREm³)



※都道236号の一部区間は、道路が斜面崩壊により寸断されており、通行止めとなっている。(平成28年度末現在)

大千代港
※大千代港は、港へのアクセス道路が斜面崩壊により寸断されており、使用できない状況にある。(平成28年度末現在)

マップの見方

- このマップは、青ヶ島で噴火が発生し、山頂火口から40万DREm³の火山灰(小さな噴石を含む。以下同様)が噴出した場合に堆積する厚さ及び範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 風向のばらつきを考慮した分布(カラー表示)は、季節による風向のばらつきを考慮した分布をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に堆積するものではない。
- 実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模、風向、風速等の条件によって分布は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものの。

<凡例(火山現象)>

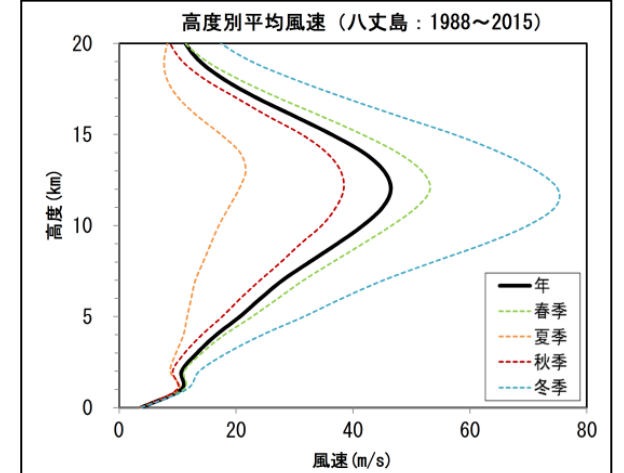
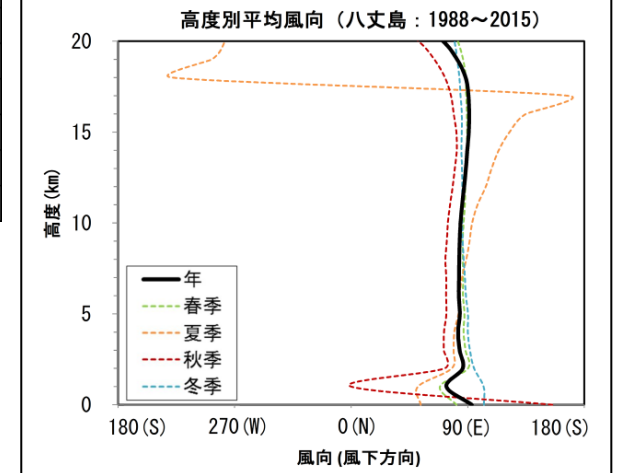
想定火口位置	▲
年平均風向風速による降灰堆積厚分布	-----
風向のばらつきを考慮した降灰堆積厚分布	■ 1cm以上堆積

<凡例(施設)>

■	村役場
▼	駐在所
—●—	都道
⚓	港湾
H	ヘリポート
⊙	発電所
⊕	浄水場
⊖	電波塔

【シミュレーションの設定値】

使用パラメーター	設定値
噴出量(見かけ体積)	100万m ³
噴出量(DRE体積)	40万m ³
噴煙柱高度	2.2km
風向	高度別年平均風向と平均風向±σ(1988~2015年のデータ)
風速	高度別年平均風速



※風のデータは八丈島特別地域気象観測所の観測値を使用

